

「職場適応援助者の育成・確保に関する作業部会」における論点（案）

- 1 職場適応援助者（以下「JC」という。）の役割、職域、支援の在り方
 - 狭義のJC（職場適応援助者助成金の対象）の基本的役割・求められるスキルは何か。
 - 狭義のJCの専門性が求められる職域とは何か。
 - 狭義のJCが実践的な支援経験を積むことで、スキルや職域がどのように変わることが期待するか。
 - 広義のJC支援の範囲をどのように考えるか。特定の企業における雇用を前提とした職場適応・定着支援以外に、一般的な雇用前支援などをどのように考えるか。

- 2 JC養成研修体系の整理等（カリキュラム、階層研修の再整理、実施機関（高等教育機関含む）・研修実施方針）
 - 基礎的研修の内容を踏まえ、JC養成研修の位置付けをどのように考えるか（専門性の更なる向上、関係機関の調整能力の育成を目的とするなど）。
 - 上記のような位置付けの研修とするには、カリキュラムにどのような内容を盛り込むべきか。
 - 現行の支援スキル向上研修に代わる上級研修の内容、受講要件等についてどのように整理するか。
 - 現行の研修終了後のサポート研修についてどのように位置付けるか。
 - JC養成研修の実施機関数は伸び悩んでいる状況であるが、活性化に向けて指定要件について見直す余地はないか。
 - JCの地域偏在を解消するため、各地域の育成計画の作成など、どのような対応が考えられるか。
 - JC間における連携や交流など、地域のネットワークをどのように構築するか。

3 訪問型 J C の活性化に向けた対応（利活用促進策、助成金制度の見直し）

- J C の社会的認知度の向上やその支援業務の具体的なイメージや魅力を発信していくためにはどのような手段が考えられるか。
- J C の活動を支えるにはどのような助成が必要か。
- 広義の J C 支援の範囲をどのように考えるか。特定の企業における雇用を前提とした職場適応・定着支援以外に、一般的な雇用前支援などをどのように考えるか。（再掲）
- 中小企業での障害者雇用において J C の活用をどのように促進していくか。
- 障害者就業・生活支援センターとの関係についてどのように考えるか。

4 J C に係る資格化の検討（例えば国家資格化を目指す場合、クリアすべき課題、今後のロードマップ等）

- J C に係る資格化の前提として、どのような課題が考えられるか。また、その課題をクリアするには、どのような対応が必要か。